

DATA FILE



六方晶系

名前	CITRINE (シトリン)/黄水晶
化学組成	SiO ₂
色	黄色
光沢	ガラス光沢
蛍光	なし
条痕	白色
劈開	なし
断面	貝殻状
硬度	7
比重	2.6

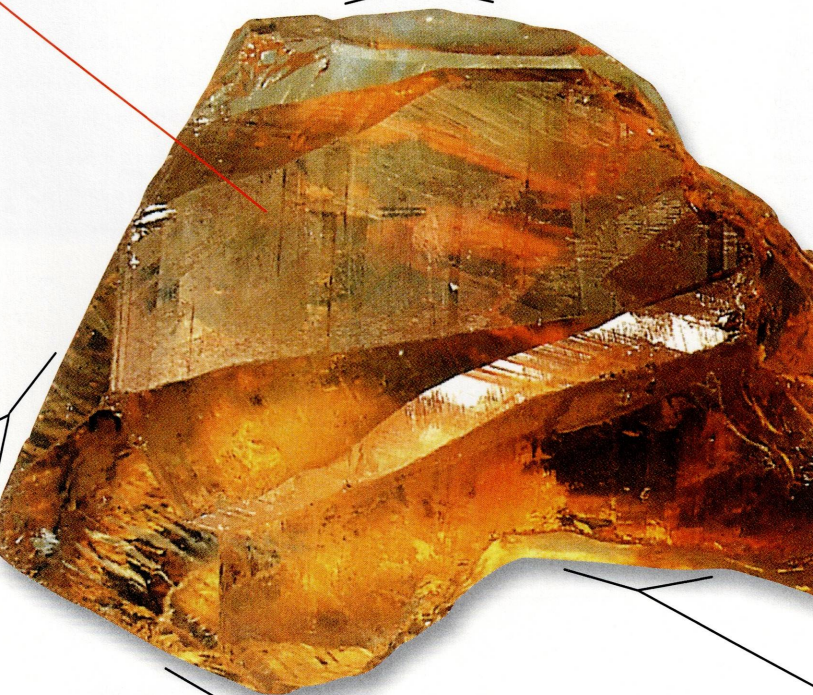
シトリン

CITRINE

「シトリン」という名称は、ギリシャ語で「レモン」を意味する言葉に由来している。

ブラジルで産出したシトリン。

ガラスのような光沢を示す。



水晶のなかで鉄を含み黄色くなったものを「シトリン（黄水晶）」という。

素焼きの陶板にこすりつけると白色の条痕が残る。



黄色い水晶

シトリンは副成分に鉄を含んで黄色くなった水晶のことで、日本では「黄水晶」ともいう。火成岩や変成岩、堆積岩など、あらゆるタイプの岩石中に見られ、両端がピラミッド型になった六角柱状や大きな集合体になるほか、双晶をつくるものもある。稀にシトリンに紫色のアメシスト（紫水晶）が混じったものもあり、「アメトリン」と呼ばれている。

シ
ト
リ
ン



▲カットされたシトリン。

シトリンの模造品

透明で全体的にむらのない色合いのシトリンは質が良いとされ、宝飾品に加工される。しかし、良質なシトリンが天然に産することは珍しく、通常は縞模様や斑点があらわれて質の劣るものが多い。そのため、アクセサリに利用されているもののなかには、アメシストに熱処理を施して黄色にした模造品も存在する。また、シトリンはトパーズの模造品としても使われ、「シトリントパーズ」と呼ばれることもある。

主な産地

▲ブラジル産のシトリン。

アメリカ 
コロラド州などで産する。

ロシア 

フランス 

ブラジル 

スペイン 

▼水晶にはさまざまな色合いがある。左の黄色いものがシトリンで、中央の紫色はアメシスト、ほかに乳白色、褐色、薄いピンク色などが存在する。

